



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月6日

上場会社名 株式会社 エノモト 上場取引所 東
 コード番号 6928 URL <https://www.enomoto.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武内 延公
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理グループ担当執行役員 (氏名) 武井 勉 TEL 0554-62-5111
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	22,690	9.6	1,514	△7.4	1,644	△3.5	1,211	△0.8
2022年3月期第3四半期	20,707	23.5	1,635	47.5	1,704	53.3	1,221	31.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 3,319百万円 (82.2%) 2022年3月期第3四半期 1,822百万円 (130.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	181.46	180.92
2022年3月期第3四半期	181.82	181.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	35,753	21,550	60.2
2022年3月期	30,174	18,628	61.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 21,535百万円 2022年3月期 18,613百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2023年3月期	—	30.00	—		
2023年3月期（予想）				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,400	7.9	1,800	△10.6	2,000	△2.6	1,600	3.5	239.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 連結業績予想の修正については、本日（2023年2月6日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」
 をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	6,865,360株	2022年3月期	6,865,360株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	186,532株	2022年3月期	194,975株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	6,678,010株	2022年3月期3Q	6,716,357株

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、2023年2月6日に当社ホームページ (<https://www.enomoto.co.jp/>) に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されるなど経済活動の正常化が進む一方、ロシア・ウクライナ情勢等に起因する物価及びエネルギー価格の高騰や急激な為替変動の影響を強く受けております。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、中国経済の個人消費の落ち込みやサプライチェーンの混乱による生産停止や在庫調整が断続的に発生するなど、見通しが難しい局面が続いております。

このような状況下、当社グループは世界的な需要拡大局面にあるパワー半導体用リードフレーム及び、高度な金属と樹脂の複合加工技術力を最大限に活用できる超微細コネクタ用部品の生産技術力と、メッキ工程における技術力や生産能力の強化に特に注力し、売上及び収益力の向上に努めて参りました。また、収益力の更なる強化を目的として、スマートファクトリー化に向けたシステム構築や作業と管理の自動化・効率化への積極的な投資を推進しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は安定的なパワー半導体用リードフレームの需要に加えて、円安による海外子会社の円換算額の増加等の影響から226億9千万円（前年同四半期比9.6%増）となりました。営業利益は生産能力増強に伴う減価償却費及び人件費の増加や、エネルギー価格の上昇による経費の増加から15億1千4百万円（同7.4%減）となりました。また、経常利益は16億4千4百万円（同3.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億1千1百万円（同0.8%減）となりました。

製品群別の業績は、次のとおりであります。

第1四半期連結会計期間より、製品群別の旧分類名「IC・トランジスタ用リードフレーム」につきましては、製品の主な使用先を的確に表現することを目的として、「パワー半導体用リードフレーム」と分類名を変更しております。なお、この分類名の変更が過去の情報に与える影響はありません。

① パワー半導体用リードフレーム

当製品群はパワー（電源）システムへの使用を中心とする個別（ディスクリート）半導体及びモジュール等に使用されるリードフレームを含んでおります。最終製品の用途では、x E V技術の進展が顕著な自動車向けや産業用機器向け及び民生用機器向けが主なものとなります。自動車向けでは電装化の加速やADAS技術の発展と普及、その他の分野においてもDXやGXといった社会革新による追い風を受け、パワー半導体の需要が増加していることから好調を維持しております。その結果、当製品群の売上高は88億5千9百万円（前年同四半期比21.6%増）となりました。

② オプト用リードフレーム

当製品群は、LED用リードフレームが主なものであります。海外の交通インフラ向けやアドバタイズメント用途の屋外ディスプレイ向けなどに一定の需要は有りますが、中国経済の停滞などによる在庫調整の影響を受け、横ばいで推移しました。その結果、当製品群の売上高は27億9千4百万円（同0.9%増）となりました。

③ コネクタ用部品

当製品群は、自動車向け、モバイル端末向けが主なものであります。自動車向けの需要が減少したほか、モバイル端末向けではスマートフォン向け部品が減少した一方、ウェアラブル端末向け部品は機器の普及に伴う市場拡大により増加しました。その結果、当製品群の売上高は105億3千3百万円（同4.1%増）となりました。

④ その他

その他の製品群としては、リレー用部品が主なものであります。当製品群の売上高は5億3百万円（同6.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前期に比べ55億7千9百万円増加し、357億5千3百万円となりました。流動資産は、主に売上債権及び棚卸資産の増加により前期に比べ34億9百万円増加の204億1千5百万円となりました。固定資産は、生産能力増強による機械装置等の増加に加え在外子会社の円換算額増加により、前期に比べ21億6千9百万円増加の153億3千7百万円となりました。

一方、負債合計は、前期に比べ26億5千7百万円増加し、142億2百万円となりました。これは主に仕入債務及び短期借入金の増加によるものです。

また、純資産は利益剰余金の増加により215億5千万円となりました。この結果、自己資本比率は、60.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの受注環境は、中長期的な需要増加の見通しが持続しているものの、足下においては中国市場の停滞による市場の在庫調整が前回予測発表時点の情報より長期化しており、想定を下回って推移しております。また、生産能力増強に伴う減価償却費や人件費の増加及びエネルギー価格の上昇による経費の増加により利益率が低下いたしました。

上記の理由により、2022年5月10日に発表いたしました通期連結業績予想を修正しております。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照くださいますよう、お願いいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,365,375	4,273,461
受取手形、売掛金及び契約資産	7,790,203	10,070,419
商品及び製品	899,087	1,520,913
仕掛品	1,686,447	1,569,103
原材料及び貯蔵品	1,781,201	2,506,892
未収入金	363,263	334,022
その他	124,610	144,968
貸倒引当金	△4,126	△4,426
流動資産合計	17,006,061	20,415,354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,502,688	10,871,972
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,032,168	△6,084,274
建物及び構築物(純額)	4,470,519	4,787,698
機械装置及び運搬具	13,904,131	16,050,458
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,052,150	△11,437,471
機械装置及び運搬具(純額)	3,851,980	4,612,986
工具、器具及び備品	3,947,099	4,295,619
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,541,365	△3,822,976
工具、器具及び備品(純額)	405,733	472,643
土地	2,641,781	2,851,282
建設仮勘定	491,376	1,022,727
有形固定資産合計	11,861,392	13,747,338
無形固定資産	374,636	660,026
投資その他の資産		
投資有価証券	521,418	516,032
退職給付に係る資産	166,273	155,842
繰延税金資産	57,440	57,912
その他	214,868	228,873
貸倒引当金	△28,050	△28,050
投資その他の資産合計	931,951	930,611
固定資産合計	13,167,980	15,337,976
資産合計	30,174,042	35,753,331

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,309,786	7,563,534
短期借入金	667,996	1,381,996
未払法人税等	134,545	138,144
賞与引当金	387,500	168,000
役員賞与引当金	50,000	—
資産除去債務	75,000	—
その他	1,489,842	2,182,448
流動負債合計	9,114,669	11,434,124
固定負債		
長期借入金	1,482,014	1,281,017
繰延税金負債	88,376	263,964
退職給付に係る負債	268,363	342,640
役員退職慰労引当金	67,792	67,792
役員株式給付引当金	128,728	137,767
その他	125,601	405,337
再評価に係る繰延税金負債	269,710	269,710
固定負債合計	2,430,585	2,768,228
負債合計	11,545,254	14,202,352
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,749,333	4,749,333
資本剰余金	5,082,571	5,082,571
利益剰余金	8,641,636	9,444,927
自己株式	△255,181	△243,945
株主資本合計	18,218,358	19,032,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,159	27,405
土地再評価差額金	△397,291	△397,291
為替換算調整勘定	749,510	2,871,547
退職給付に係る調整累計額	10,941	1,320
その他の包括利益累計額合計	395,319	2,502,982
新株予約権	15,109	15,109
純資産合計	18,628,787	21,550,978
負債純資産合計	30,174,042	35,753,331

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	20,707,142	22,690,932
売上原価	17,279,923	19,286,503
売上総利益	3,427,218	3,404,429
販売費及び一般管理費	1,792,198	1,889,928
営業利益	1,635,020	1,514,501
営業外収益		
受取利息	6,004	4,072
受取配当金	1,677	2,964
受取賃貸料	30,575	22,867
助成金収入	2,213	35,456
為替差益	15,944	57,761
その他	43,798	34,415
営業外収益合計	100,213	157,538
営業外費用		
支払利息	10,448	17,074
債権売却損	760	15
租税公課	4,879	4,483
減価償却費	8,864	5,839
その他	5,818	476
営業外費用合計	30,771	27,889
経常利益	1,704,462	1,644,150
特別利益		
固定資産売却益	6,724	9,094
特別利益合計	6,724	9,094
特別損失		
固定資産売却損	4,999	6,326
固定資産除却損	6,532	7,003
投資有価証券評価損	—	1,058
特別損失合計	11,531	14,388
税金等調整前四半期純利益	1,699,655	1,638,856
法人税、住民税及び事業税	299,574	229,834
法人税等調整額	178,918	197,208
法人税等合計	478,493	427,042
四半期純利益	1,221,161	1,211,814
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,221,161	1,211,814

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,221,161	1,211,814
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,856	△4,753
為替換算調整勘定	600,262	2,122,037
退職給付に係る調整額	△8,087	△9,620
その他の包括利益合計	601,031	2,107,663
四半期包括利益	1,822,193	3,319,477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,822,193	3,319,477
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。